

6. アンケート地区別分析項目

6-11.座間 地区親の会 会員アンケート結果分析項目

TU130118

①アンケート回収状況(アンケート属性、件数データ集計結果)

1 回収率

回答件数	18 件
総発行数	29 件
回収率	62.1 %

年齢構成

年齢	人数	男	女
9	2	2	
10	0		
11	0		
12	1	1	
14	1	1	
15	1	1	
16	2	2	
17	1	1	
18	1		1
19	1	1	
22	2	2	
24	2	1	1
25	1	1	
26	1	1	
30	0		
32	2	1	1
35	0		
合計	18	15	3

2) 日中活動の場

	件数	名
20 小中学校		
21 通常級	1	1
22 特別支援学級	1	1
23 特別支援/養護学校	5	5
31 全日制高校		
33 定時制	1	1
35 特別支援/養護学校		
51 通所福祉施設	7	7
62 特例子会社	1	1
70 在宅	2	2
72 その他		
合計	18	18

3) 障害者手帳の状況

療育手帳 A1	11	名
A2	2	名
B1	0	名
B2	3	名
B3	0	(神奈川県判定B2)
精神 2級	1	名
精神 3級	0	名
無し	1	名
合計	18	名

4) 記入者

1 本人	0	名
2 家族	18	名
合計	18	名

5) 住んでいる所

1 自宅	17	名
3 GH	1	名
4 入所	0	名
合計	18	名

2 総回答件数状況

1) NO 質問項目	○良 かった事	● 困った事	20 望む事	30:合理 的配慮	合計 件数	%
NO1 療育・教育	5	8	4	1	18	26.5
NO2 障害児支援	6	3	2	2	13	19.1
NO3-1 働く(一般就労)	1	0	1	0	2	2.9
NO3-2 働く(福祉就労)	0	2	0	0	2	2.9
No4 医療	2	4	2	0	8	11.8
NO50 警察や交番・司法	2	0	0	0	2	2.9
NO6-1 生活支援(店舗等)	3	1	0	0	4	5.9
NO6-2 生活支援(公共交通機関)	0	1	0	0	1	1.5
NO6-3 生活支援(消費生活等)	1	1	0	0	2	2.9
NO7 生活(住まい)	1	3	3	1	8	11.8
NO8 救急・消防・災害	0	1	1	0	2	2.9
NO9 政治参加	0	1	0	0	1	1.5
NO10 社会参加	2	3	0	0	5	7.4
合計	23	28	13	4	68	100

2) 自由記入

NO 質問項目	件数
10 困った事	0
20 助かった事、親切だった事	0
30 アンケートへの感想、意見	1
40 会への要望、意見	1
50 その他	0
合計	2

②生活シーンNO項目別回答コメントの分析概要報告(座間地区)

NO1 療育・教育

- ・言葉の指示が多く、片言でも話すと視覚支援がなくなる。
- ・支援級で教師のやり方に子供が従うのが学校と言われ、本人に合わせた教育は受けられなかった。
- ・育て方がわからず、相談場所もなかった。
- ・普通級にいるのだから、特別な支援はできないと言う教員もいる。
- ・療育先に通うため、お金がかかる。市には何もない。
- (望む事として) 教員の知識の向上を求めます。(多数回答)
- (合理的配慮) どこに住んでいても共通した教育や療育が受けられるべき。本人が自信がもてるような配慮を大切にしてほしい。

NO2 障害児支援

- ・通学、通院の付き添い支援がなくて困る
- ・母の具合悪い時はご近所さんが代わりに行ってくれ助かった。
- ・日中支援が良心的で助かる。
- ・健診が困難。市の方で別枠で受けたかった。
- ・障がいがあるため、学童ホーム断られた。
- (望む事として) 日中支援、デイサービスを増やしてほしい。時代にあった専門家がが増えてほしい。
- (合理的配慮) 障がい自立支援法により地域で安心して過ごせるようになった。選んで学校(公立)に通えるくらいに専門性があると安心して通わせられる。移動支援でより楽しい経験を積んでほしい。

NO3-2 働く(福祉的就労・施設・作業所など)

- ・職員がコロコロ変わる。
- ・親も年老いて1日2往復、2時間の送迎がきつい。
- ・本人にわかりやすく指示を工夫してくれた。
- ・自分で決めることが多くあり、自信・達成感が生まれ新しいことに挑戦できることが増えた。
- (望む事として) 家庭について第二の「居場所」となるよう自分が主体の場所になるよう力をいれて欲しい。
- (合理的配慮) 視覚支援の上にコトバがあると伝わりやすい。

NO4 医療

- ・採血、治療、注射等本人が怖がって嫌がる。
- ・押える人が3人くらいいるとできるが協力してもらえず、検査を断念。
- ・精神科の待合室は予約患者が多く長時間待たされ、困難だった。
- ・24年度からB2の医療費1割の支援が受けられなくなり、実費負担が大きい。
- ・耳鼻科で治療拒否され、他の病院探せと言われた。
- ・かかり付けの医院は待ちづらい事を理解してくれトップに受診させてくれる。
- (望む事として) 待合室でパニックになることがあり、待機できる場所があると嬉しい。
- (合理的配慮) 近くに専門医がほしい。小さい時からずっとみてもらえる精神科がほしい。

NO5 警察や交番・司法

- ・保護されたが、警官が理解ある対応でした。
- ・自閉症と警察官に伝えると住民名簿に記録してくれた。

NO6-1 生活支援(店舗・レジャー施設・余暇の場)

- ・本人は何もしてなくても、嫌な顔される。
- ・映画、水族館、遊園地等、入場料が半額や安くなるのが助かる。
- ・仲間との余暇や習い事が良い関係で長く続けられてる。
- (合理的配慮) 親があまりかかわらず、本人だけで参加型の部活動的な活動の場があれば助かる。

NO6-2 生活支援(公共交通機関)

- ・大声で独り言を電車の中で言っていると気持ち悪そうに見られる。
- (望む事として) 障害者用のパスモ、スイカがあると助かる。

NO6-3 生活支援(消費生活・情報アクセス・コミュニケーション保障)

- ・子供が多動の為、役所の手続きが困難。職員は見てみぬふり。
- ・パソコンなどの情報収集ができ、良い。
- (望む事として) 正しい情報を発信してほしい。絵カードなどもちいてやっていただきたい。

NO7 生活(住まい)

- ・障がいがあると伝えないと、躰が悪いと思われ嫌がらせをされた。
- ・ケアホームでは1室完全に洗濯部屋にして、利用者の目にふれぬような配慮がされてる。
- ・福祉施設からショートに数泊することで、ケアホーム入居に踏み出せた。
本人はショートステイ感覚に通えた。
- ・ケアホームの入居人募集していたので見学したいと言ったら身辺自立ができておらず
(髭剃りができない)言葉でのコミュニケーションもとれない人は受け入れられないと
見学もできなかった。
- (望む事として) グループホームが少ない。増えてほしい。
- (合理的配慮) 地域格差なく安心して暮らせる環境を整備してほしい。
制度だけでなく環境、整備を先に行ってほしい。

NO8 救急・消防・災害

- ・災害時に避難場所で生活できるか不安。
- ・市に何年もわたり要望しているが、未だに福祉避難所(知的障害者を受ける)が指定されない。
- ・学校が市内ではないので災害時の判断が難しい。
- (望む事として) 避難訓練など自治会であれば参加したい。
障がいのある人は配慮のある場所で避難生活したい。

NO9 政治参加

- ・まだ選挙できる年齢ではないが、できるか不安。
- ・成年後見制度を使うと参政権がなくなる。介助があれば投票できるが、参政権を奪うのはおかしい。

NO10 社会参加(地域、自治会、民生委員など)

- ・自治会で役員をやったとき、障がいのある子が出来ることは
参加、手伝いをするが、出来ないことがあると伝えても全く解ってもらえなかった。
- ・近所の理解の無い人は変人扱いする。
- ・よく買い物する店は理解してくれ良くしてくれる。

全体としてのコメント

療育・教育の回答が多くでしたが、どの年齢からも「教師の知識のなさ、専門性に欠ける」
が、共通して多くでした。
学童の子を持つ親御さんは、この先の不安などの意見もでています。
日中支援等、助かるとの意見も多くでしたが、
同時に数が足りない、増やして欲しいとの意見もでています。

以上